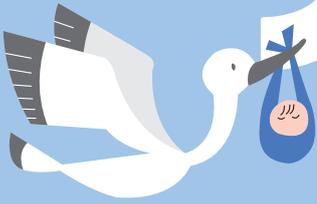


— もうすぐ赤ちゃんと会えるプレママのみなさんへ —

# このとりくらぶ



vol.45  
2017 春号

特集 ..... 1-3

## 妊娠中の 薬について

痔 ..... 4

赤ちゃんのおへそ ..... 5-6

Information ..... 7

寒かったり暖かったり、体調管理が難しい今日この頃ですが…  
みなさまいかがお過ごしでしょうか？

草木の芽も膨らみはじめ、本格的な春はもうすぐそこですね♪  
新入学や就職、新たな出会いがたくさんある季節でもあります。  
わたしたち産婦人科 5A病棟でも、新入職員を迎える準備が始まりました。  
このとりくらぶ編集部にも、新たな仲間が増えるのを心待ちにしているところです！

さて、今回号では

「妊娠中に飲むことのできるお薬について」

「マイナートラブルである痔について」

「赤ちゃんのおへそのことについて」の特集です(^ ^)

ごゆっくりご覧ください☆



# 妊娠中の

# 薬

# について

服用しても  
大丈夫？

赤ちゃんへの  
影響は？

妊娠前は何気なく使っていた薬も、妊娠すると「妊娠経過や赤ちゃんの発達・発育に悪い影響がでたらどうしよう。」と色々心配になることが多いかと思います。

奇形児が生まれてくる確率はもともと約1～2%は存在し、そして薬の影響によって催奇形性が生じた場合には、奇形児が生まれる確率が約2～3%に上昇するといわれています。現在販売されているほとんどの薬には、心配するような危険性はありません。

しかし薬の中には、催奇形性（おなかの赤ちゃんに奇形を作る作用）のリスクがある薬が存在します。（※薬を飲んだ事によって必ずしも奇形性を引き起こすわけではありません。）

そこで、今回は妊娠時期と胎児への影響や妊娠中に服用を避けたほうがよい薬についてお話していきますね。



## 妊娠時期と胎児への影響について

### 妊娠 4 週未満 (妊娠超初期)

この時期には妊婦さんが薬を飲んでも胎児の器官などの形成は行われていませんので影響はほとんど受けません。また、妊娠に気付かず薬を服用していた場合も妊娠前や妊娠4週未満であればほとんど影響はありません。



### 妊娠 4～7 週

この時期は胎児の体の基礎が作られる器官形成期であり、妊娠初期は奇形を起こすという意味での影響が最も大きいとされます。無脳症や脊椎の一部が左右に分離する二分脊椎などの神経系の奇形を引き起こしてしまう可能性があります。この時期は本人も妊娠していることに気づいていないことが多いため、心配な場合は医師に相談してみましょう。



### 妊娠 8～15 週

この時期は、重要な器官の形成はおわり、末端器官の形成が行われます。奇形を起こすという意味での影響は低下する時期ではありますが、末端器官の形成が行われているため、薬の影響により手足が短くなったり、目や鼻が小さくなったり低体重症を引き起こしてしまう可能性があります。



### 妊娠 16 週～分娩まで

この時期からは、妊娠安定期に入り、胎児の器官形成がおわるため薬の影響はほとんど受けなくなります。しかし、多くの薬剤は胎盤を通じて胎児へ移行するため、薬剤の過剰な服用などにより成長を妨げてしまう恐れがあります。少し注意しましょう。





## よく使われる薬の中で使用を控えたほうがよい薬



基本的に、市販薬の「医薬部外品」にあたるものは強い成分は含まれていないので内服することは可能といわれていますが、「医薬品」にあたるものは注意が必要です。

### 抗生物質

塩酸ミノサイクリン・クラビット・ジェニナック など

抗生物質は使用出来る薬もありますが、胎児に毒性を持つものが多いため、医師と相談し注意して使用しましょう。

### 鎮痛剤

ボルタレン・ロキソニン など

妊娠中に使用する鎮痛剤は、カロナールや市販薬ではカロナールと同成分のノーシン錠などが使用できます。また、腹痛や胃痛などには、ブスコパンも使用できます。

産婦人科で処方される薬であれば胎児に悪影響なものは処方されませんので、使用したい薬がある場合は、自己判断で購入・使用せず産婦人科医に相談してみましょう。



## こんな時は医師に相談してみましょう

妊娠と気付かずに、妊娠中に服用してはいけない薬を服用してしまった場合。

妊娠中に新たに病院にかかるとき、薬を服用したい場合。

何かの病気があってその治療のために薬を常用している場合。

治療に必要な薬はしっかりと服用することも大切です。自己判断で薬を中断してしまうとかえって赤ちゃんに危険を及ぼすことがありますので、上記の場合は必ず医師に相談しましょう。また、妊娠する前に薬を服用するときは、妊娠の希望がある事・妊娠する可能性があることを医師に伝えておきましょう。

# 痔

出産後、妊娠中とは違った体の変化が多くあります。今回は多くのママ達が悩む痔について紹介します。



「痔」とは肛門や肛門周辺の病気の総称です。その中でも「いぼ痔」と言われるものが産後に多く発症します。肛門周辺の血流が悪くなり、いぼ状に腫れ上がった状態のものです。出産の際にいきむことや、産後の便秘により血流が悪くなってしまうことが原因と言われています。出産後、痔に悩まされるママはたくさんいます。しかし「恥ずかしい」という気持ちからなかなか医師に相談出来ず、一人で抱え込んでしまうママが多くいることも事実です。ママの希望があれば痔の薬も医師に処方してもらうことが出来ます。また、便秘になり痔を悪化させないように水分を意識的に多く摂ることや、食事をしっかりと食べることも治療に大切なことです。妊娠中、すでに痔の徴候のある妊婦さんは助産師や看護師に相談していただければ、出産のいきむタイミングや呼吸法を指導します。いきみ過ぎによる痔の発症を予防しましょう。産後は傷だけでなく、痔による違和感や痛みを訴えるママも多いです。

そのため円座などを活用して自分にあった体勢で過ごしていただくことをお勧めします。

円座も低反発素材やハート型、持ち運びができるコンパクトサイズなど種類豊富！  
ぴったりなものを見つけてみてください！



産後は育児や家事などにより慌ただしくなり自分の身体のことを二の次になってしまうかもしれません。出来るだけ痛みなど苦痛が少なくストレスのない生活が送れるように心がけましょう。そして自分だけが悩んでいるのではないこと、多くのママになり得ることだと知っておきましょう。痔のことが気になる時は遠慮せず相談し、治療・予防をしていきましょう。



# 赤ちゃんの おへそ



妊娠中はママと赤ちゃんをつないでいたへその緒。産後少しの間は赤ちゃんのおへそに残っています。おへそから細菌などに感染することもあるため観察や処置が必要です。そんな処置に困ったことはありませんか？ここでは赤ちゃんのおへそのことについてお話していきます。

## Q 赤ちゃんのへその緒はいつ取れる？

赤ちゃんのへその緒が取れるのは、生後2～3週間が目安です。徐々に縮んで茶色になって硬くなり、乾燥してコロッと取れてしまいます。おむつ替えや沐浴の最中に、知らない間に取れていたなんてこともあります。



知らない間に  
取れていても大丈夫！



# Information

## 母親学級のお知らせ

夫立会い分娩希望の方はご夫婦で第3課の参加をしてください。

場所 管理棟4階 第1会議室

受講料 無料

対象 第1・2課は、当院で妊婦検診をされている方。第3・4課は、当院で分娩予約をされている方。

	日時	対象	内容
第1課	毎月第1火曜日 13:30～15:30 ※都合により変更になる 場合があります	妊娠初期～20週	妊娠中の栄養・生理・ 生活について (管理栄養士と臨床心理士さんからのお話)
第2課	毎月第2火曜日 13:30～15:30	22週以降	妊娠中・産後の必要物品・ 母乳の話と授乳の練習
第3課	毎月第1・3土曜日 13:30～15:30	28週以降	入院時期やお産の経過・ 呼吸法について
第4課	毎月第3火曜日 13:30～15:30	28週以降	バースプランと産後のママ・ 赤ちゃんの生活について

## 母乳外来

母乳外来は母乳育児のサポーターです。

退院後上手く授乳できない、おっぱいが痛い、上手く搾れない、搾る量が減ってきた、そろそろおっぱいを卒業したいなど、母乳についてのご相談を受け付けております。

料金 初回のみ5,000円 2回目以降3,500円

対象 母乳育児中の方。  
あらゆる時期に対応いたします。

おっぱいをマッサージしながら、育児の悩みもお聞きます。



### 申し込み方法

完全予約制の為、下記の電話番号にご連絡ください。

☎ **055-948-3111** (内線 1160)

詳細は産科外来窓口まで

このとりくらぶバックナンバーがWEBで閲覧できます！

このとりくらぶ 順天堂

